

News Release

2025 年 5 月 8 日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2025 年 5 月 2 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASFグループ: 2025年第1四半期の業績

全地域における強固な事業基盤により、特別項目控除前 EBITDA はほぼ前年同期の水準に

- 特別項目控除前 EBITDA は 26 億ユーロ、アナリストのコンセンサスと一致
- 2025 年の見通しは変更なし

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)はこのほど、2025 年第 1 四半期の業績を発表しました。「2025 年第 1 四半期において、BASF は厳しさの増す環境下でその地位を維持しました。特別項目控除前 EBITDA は前年同期とほぼ同水準で、アナリストの平均的な予想と一致するものでした」と、BASF の最高財務責任者(CFO)の Dr. ディルク・エルバーマンは、アナリストと投資家向けの電話会議で第 1 四半期の業績を発表した際に述べました。また、世界の主要地域の全てに生産施設を持つことの経済的メリットを強調しました。さらに、米国の関税措置の発表をめぐる最近の市場動向を踏まえ、「私たちは現地の市場向けに現地で生産を行っています。特にこうした厳しい時代において、このことは当社のレジリエンスを他社よりも高めることにつながり、競争上の優位性にもなっています」と、エルバーマンは述べています。

お問い合わせ:
BASF ジャパン株式会社
コミュニケーションズ部
communications-jp@basf.com

BASF ジャパン株式会社
住所: 〒103-0022
東京都中央区日本橋室町 3-4-4
OVOL 日本橋ビル 3 階
<https://www.basf.com/jp>

欧州と北米では、BASF の売上高の約 90%がそれぞれの地域で製造された製品によって生み出されています。米国では、2024 年の BASF の売上高の 80%以上が国内で製造された製品によるものでした。アジア太平洋地域および南米では、その割合は約 80%でした。「BASF の現地生産の割合が高いことから、関税の直接的な影響は限定的なものになると考えられます。ただし、市場の不確実性や、自動車や消費財などの産業における顧客需要の変化から生じる間接的な影響も考慮する必要があります。現時点において、現状の関税および報復関税が BASF の事業に与える影響を完全に評価することは、依然として困難です」とエルバーマンは述べています。

2025 年第 1 四半期の売上高と利益の推移

BASF グループの 2025 年第 1 四半期の売上高は 174 億ユーロで、前年同期(176 億ユーロ)を 1 億 51 百万ユーロ下回りました。これは主に、アグロソリューション事業セグメント、ケミカル事業セグメント、ニュートリション & ケア事業セグメントの販売量が減少したことによるものです。一方、サーフェステクノロジー事業セグメント、インダストリアル・ソリューション事業セグメント、マテリアル事業セグメントの販売量は前年同期の水準を維持しました。さらに、ほぼすべての事業セグメントで競争圧力による価格の低下が発生したことも減収の一因となりました。ニュートリション & ケア事業セグメントでは価格の引き上げを実施しました。また、主に米ドルのプラス効果により、為替がほぼすべての事業セグメントで売上高を押し上げました。

減価償却費および特別項目控除前営業利益(特別項目控除前 EBITDA) は、前年同期比 87 百万ユーロ減の 26 億ユーロでした。サーフェステクノロジー事業セグメントの特別項目控除前 EBITDA はわずかに増加したものの、他のすべての事業セグメントが BASF グループの若干の減益に影響しました。とりわけ、アグロソリューション事業セグメント、ケミカル事業セグメント、ニュートリション & ケア事業セグメントの特別項目控除前 EBITDA は前年同期を大幅に下回りました。マテリアル事業セグメントとインダストリアル・ソリューション事業セグメントの利益は微減となりました。「その他」に分類される事業の利益は大幅に増加しました。この増加の理由は、賞与引当金の減少、BASF の保険会社からの利益貢献の増加、雑損益に含まれる為替およびヘッジ処理による損益の改善などです。

EBITDA は前年同期の 27 億ユーロに対し、22 億ユーロでした。**特別項目控除前 EBITDA マージン**は 前年同期の 15.4%に対し、15.1%でした。2025 年第 1 四半期の EBITDA の特別項目はマイナス 4 億 47 百万ユーロでした。EBITDA に含まれる特別費用は主に Nordlicht 1 および 2 の風力発電プロジェクトにおける BASF の株式売却から発生したものです。**EBIT**(営業利益)は 12 億ユーロと、前年同期を 4 億 93 百万ユーロ下回りました。減価償却費は 9 億 81 百万ユーロでした(前年同期は 9 億 65 百万ユーロ)。

税引後利益は 前年同期比 5 億 73 百万ユーロ減の 8 億 37 百万ユーロとなりました。非支配持分は前年同期を 14 百万ユーロ下回る 29 百万ユーロでした。この結果、**純利益**は 8 億 8 百万ユーロとなりました(前年同期は 14 億ユーロ)。

2025 年第 1 四半期のキャッシュフローの推移

営業活動によるキャッシュフローは、前年同期比 4 億 68 百万ユーロ減のマイナス 9 億 82 百万ユーロとなりました。この減少は主に、前年同期には 1 億 29 百万ユーロ減少した貴金属取引項目が、2 億 78 百万ユーロ増加したことによるものです。さらに、米国における水溶性フィルムフォーム(AFFF)の広域係属訴訟に関連する集団和解のために合意した約 3 億ユーロの支払いが、当年度第 1 四半期に実施されました。営業活動によるキャッシュフローから、土地、工場、設備および無形資産に対する支払いを差し引いた**フリー・キャッシュフロー**は、前年同期のマイナス 15 億ユーロに対し、マイナス 18 億ユーロとなりました。

2024 事業年度は 1 株当たり 2.25 ユーロの配当を提案

すでに発表したとおり、BASF 取締役会および監査役会は年次株主総会において、1 株当たり 2.25 ユーロの配当を提案する予定です。BASF は引き続き、株主に対して魅力的な配当利回りを提供します。年次株主総会の開催日である 2025 年 5 月 2 日の時点で BASF の株式を保有する全株主が、配当を受け取る権利を有します。年次株主総会で配当案が承認された場合、1 株当たり 2.25 ユーロの配当金が 5 月 7 日に支払われます。配当落ち日は、年次株主総会後の最初の営業日である 5 月 5 日(月)です。

中期的には、配当と自社株買いの組み合わせにより、株主への利益分配総額を少なくとも前年水準に維持することを約束します。BASF は、2025 年から 2028 年までに少なくとも 120 億ユーロを株主へ分配するという目標を掲げています。具体的には、年間 1 株当たり最低 2.25 ユーロの配当金の支払いと、遅くとも 2027 年時点での自社株買いの開始を目指しています。

BASF グループの 2025 年の見通し

2025 年に入ってから、米国は貿易相手国からの輸入品に次々と新たな関税を課しています。関税や貿易相手国による対抗措置の中には、発効して現在も実施されているものもあれば、短期間で一時的に停止されたものもあります。米中間の貿易は現在、非常に高い関税にさらされており、両経済圏の直接貿易に大きな影響を与える可能性があります。

第 1 四半期にはすでに、化学品産業とその顧客産業における生産の勢いが、予想される米国の関税引き上げへの反応から大きな影響を受けました。今後の動向は、米国とその貿易相手国の貿易政策に関する決定に大きく左右されます。世界経済への影響について、現時点での確実な数値化は不可能です。このような不安定な状況を踏まえ、BASF Report 2024 で報告した 2025 年の世界経済環境に関する当社予測には、現在のところ変更はありません。

- GDP 成長率: 2.6%
- 工業生産成長率: 2.4 %
- 化学品生産成長率: 3.0%
- ユーロ／ドル平均為替レート: 1 ユーロ＝1.05ドル
- 年平均ブレント原油価格: 1 バレル＝75ドル

BASF Report 2024 で報告した BASF グループの 2025 事業年度業績予測にも変更はありません。

- 特別項目控除前 EBITDA: 80 億～84 億ユーロ
- フリー・キャッシュフロー: 4 億～8 億ユーロ
- 二酸化炭素排出量:1,670 万～1,770 万トン

米国による関税の発表をめぐる不安定さ、およびその他の決定事項の予測ができないこと、そして貿易相手国による対抗措置の可能性が、高いレベルの不確実性を引き起こしています。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィッヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。私たちは、持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追及しています。また、お客様のグリーントランスフォーメーションを可能にする、選ばれる化学会社になるという意欲的な目標を掲げています。全世界で約 112,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、コア事業の事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、ニュートリション & ケア)、スタンドアローン事業の事業セグメント(サーフェステクノロジー、アグロソリューション)から成ります。2024 年の BASF の売上高は 653 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASF の詳しい情報は <https://www.basf.com/global/en> をご覧ください。

■将来の予測に関する記述について

本リリースには BASF 経営陣による現時点での推測および予測、ならびに現在入手可能な情報に基づく「将来の予測に関する記述」が含まれています。これらはここに記す将来の進展や業績を保証するものではなく、多くの要因に依存し、様々なリスクと不確実性を含んでいるほか、正確とは限らない仮定に基づいています。本リリースに記載された将来の予測に関する記述に関しては、BASF は更新の義務を負いません。